

資料 1-18

表 1 植物群落の状況

No.	群落名	状況
1	イヌブナ群落	<p>ブナクラス域における山地帯の尾根部等に成立する落葉広葉樹の自然林。</p> <p>高さ 18m 程度、高木層はイヌブナが優占し、亜高木層はイヌブナ、ツガが多い。</p> <p>調査地域では、大鹿村の標高 1,100m 以上の尾根上に分布していた。</p>

表2 植物群落の概要

No.	群落名	概要
2	イヌシデー アカシデー群落	<p>ブナクラス域における山地帯に成立する落葉広葉樹の自然林。 高さ 16m 程度、高木層はイヌシデーが優占し、トチノキ、ケヤキなどが混生していた。 調査地域では、大鹿村の標高 1,000m 以上の山地斜面に分布していた。</p>

表3 植物群落の概要

No.	群落名	概要
3	コカンスゲー ツガ群集	<p>ブナクラス域における山地の尾根部等に成立する落葉広葉樹の自然林。</p> <p>高さ 14~25m 程度、高木層はツガが優占し、下層がほとんどない林分と、スズタケが密生する林分がみられた。</p> <p>調査地域では、大鹿村、飯田市、阿智村、南木曾町の標高 1,000 m 付近の尾根筋に小面積で分布していた。</p>

表 4 植物群落の概要

No.	群落名	概要
4	ヒノキ群落	<p>ブナクラス域における山地帯に成立する常緑針葉樹の自然林。</p> <p>高さ 23m 程度、高木層はヒノキ、モミが優占し、アスナロ、ホオノキが混生する。低木層はスズタケが密生していた。</p> <p>調査地域では、南木曾町の標高 600m 以上の山地に分布していた。</p>

表 5 植物群落の概要

No.	群落名	概要
5	ヒメコマツ群落	<p>ブナクラス域における尾根部等の岩角地に成立する常緑針葉樹の自然林。</p> <p>高さ 18m 程度、高木層はヒメコマツが優占し、コナラ、ツガが混生していた。</p> <p>調査地域では、豊丘村の標高 800~1,000m 付近の尾根上に分布していた。</p>

表 6 植物群落の概要

No.	群落名	概要
6	ミヤマクマワラビ ー シオジ群集	<p>ブナクラス域における山地溪畔に成立する落葉広葉樹の溪畔林。</p> <p>高さ 22m 程度、高木層はトチノキが優占し、サワグルミ、カツラが混生していた。</p> <p>調査地域では、大鹿村の標高 1,000m 以上の谷沿いの斜面等に分布していた。</p>

表 7 植物群落の概要

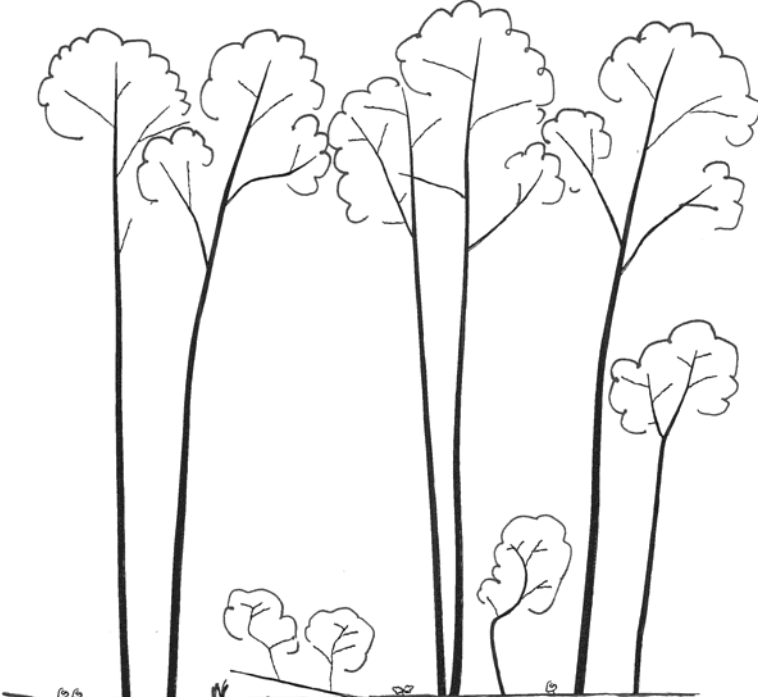
No.	群落名	概要
7	サクラバハシノキ群落(IV)	<p>ブナクラス域における山地帯の湿地に成立する落葉広葉樹の沼沢林。</p> <p>高さ 17m 程度、高木層はサクラバハシノキが優占。下層の植物は疎であった。</p> <p>調査地域では、豊丘村の標高 900m 付近の山間の湿地に小面積で分布していた。</p>
 <p data-bbox="518 1355 1109 1512"> サクラバハシノキ サクラバハシノキ ツボスミレ ノリウツギ サクラバハシノキ ウリカエデ ホオノキ イネ科の一種 サクラバハシノキ サクラバハシノキ ツボスミレ </p>		

表 8 植物群落の概要

No.	群落名	概要
8	ヤナギ低木群落 (IV)	<p>ブナクラス域における低地帯～山地帯の河辺に成立する落葉広葉樹の河辺林。</p> <p>高さ 7～8m 程度、低木層はヤマネコヤナギが優占し、ケヤマハンノキ、ヌルデなどが混生していた。</p> <p>調査地域では喬木村、高森町を除く各地で、河川沿いに分布していた。</p>

表 9 植物群落の概要

No.	群落名	概要
9	オニグルミ群落 (IV)	<p>ブナクラス域における低地帯～山地帯の河辺に成立する落葉広葉樹の河辺林。</p> <p>高さ 12m 程度、高木層はオニグルミが優占し、キハダ、ケヤキが混生していた。</p> <p>調査地域では、大鹿村、豊丘村、南木曾町の河川沿いや、山地斜面に分布していた。</p>

表 11 植物群落の概要

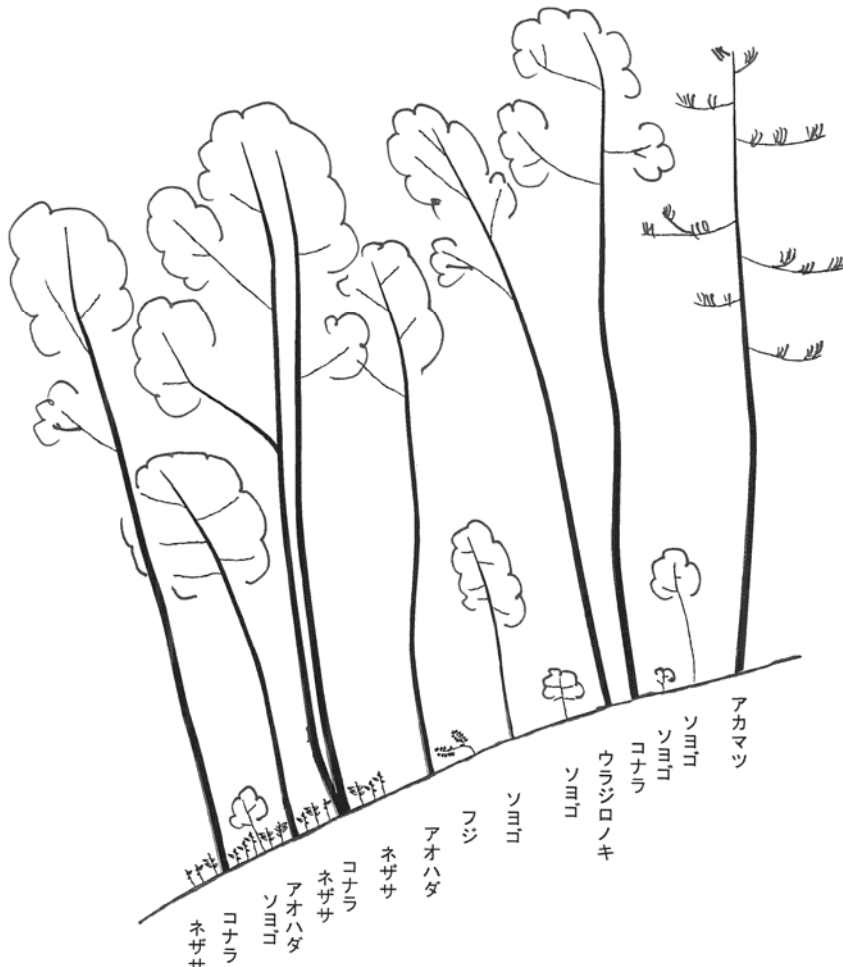
No.	群落名	概要
11	コナラ群落(V)	<p>ブナクラス域における低地帯～山地帯に成立する落葉広葉樹の二次林。</p> <p>高さ 15～18m 程度、高木層はコナラが優占し、アベマキ、ミズナラなどが混生していた。草本層がほとんどない林分と、ササに被われる林分がみられた。</p> <p>調査地域では、高森町を除く各地でみられ、豊丘村、飯田市で広く分布していた。</p>
		

表 11 植物群落の概要

No.	群落名	概要
12	ミズナラ群落(V)	<p>ブナクラス域における低地帯～山地帯に成立する落葉広葉樹の二次林。</p> <p>高さ 14～18m 程度、高木層はミズナラが優占し、コナラ、カシワなどが混生していた。</p> <p>調査地域では、大鹿村、阿智村の標高 800m 以上の山地にみられ、阿智村では広く分布していた。</p>

表 13 植物群落の概要

No.	群落名	概要
13	ケヤキ二次林	<p>ブナクラス域における低地帯～山地帯に成立する落葉広葉樹の二次林。 高さ 18m 程度、高木層はケヤキが優占し、イタヤカエデ、エゾエノキが混生していた。 調査地域では、大鹿村の標高 800m 以上の山地斜面に分布していた。</p>

表 14 植物群落の概要

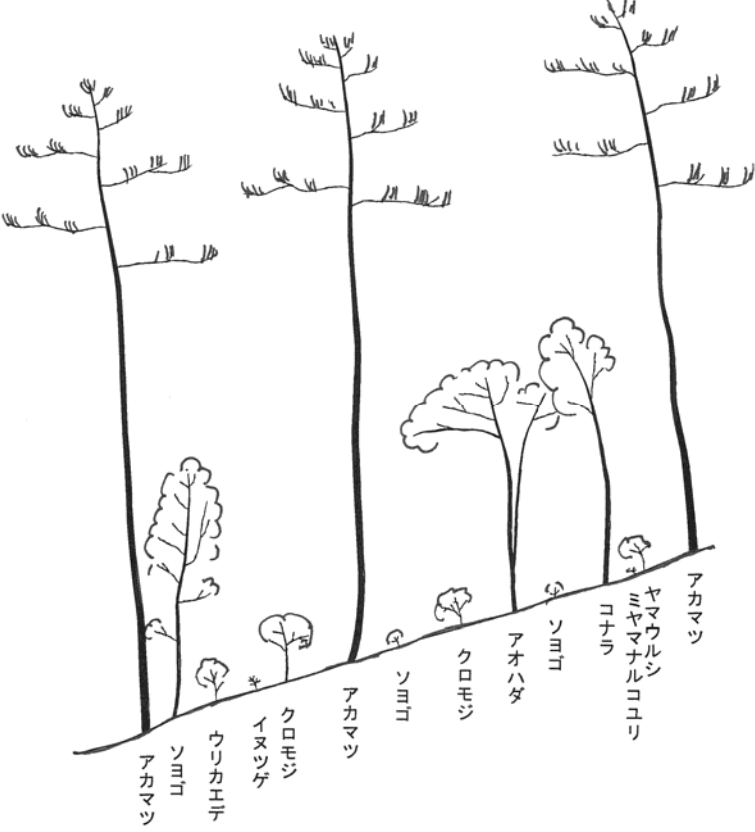
No.	群落名	概要
14	アカマツ群落 (V)	<p>ブナクラス域における低地帯～山地帯に成立する常緑針葉樹の二次林。</p> <p>高さ 12～20m 程度、高木層はアカマツが優占し、まれにコナラが混生していた。</p> <p>調査地域では、喬木村、高森町を除く各地でみられ、豊丘村の一部では広く分布していた。</p>
		

表 15 植物群落の概要

No.	群落名	概要
15	フサフジウツギ群落 (外来種低木群落)	<p>ブナクラス域における低地帯～山地帯に成立する落葉広葉樹の低木群落。</p> <p>高さ 4m 程度、低木層はフサフジウツギが優占し、タラノキ、ウツギが混生していた。</p> <p>調査地域では、大鹿村の河川沿い等に小面積で分布していた。</p>

表 16 植物群落の概要

No.	群落名	概要
16	クズ群落(V)	<p>耕作放棄地や荒地に成立するつる植物の草本群落。 高さ 1.0m 程度、クズが優占し、セイタカアワダチソウ、ヨモギが混生していた。 調査地域では、大鹿村、阿智村を除く各地の川沿い、荒地に小面積で分布していた。</p>
<p style="text-align: center;"> カタバミ セイタカアワダチソウ セイタカアワダチソウ ヨモギ クズ クズ クズ メヒシバ クズ メリケンカルカヤ コスズメガヤ ヨモギ </p>		

表 17 植物群落の概要

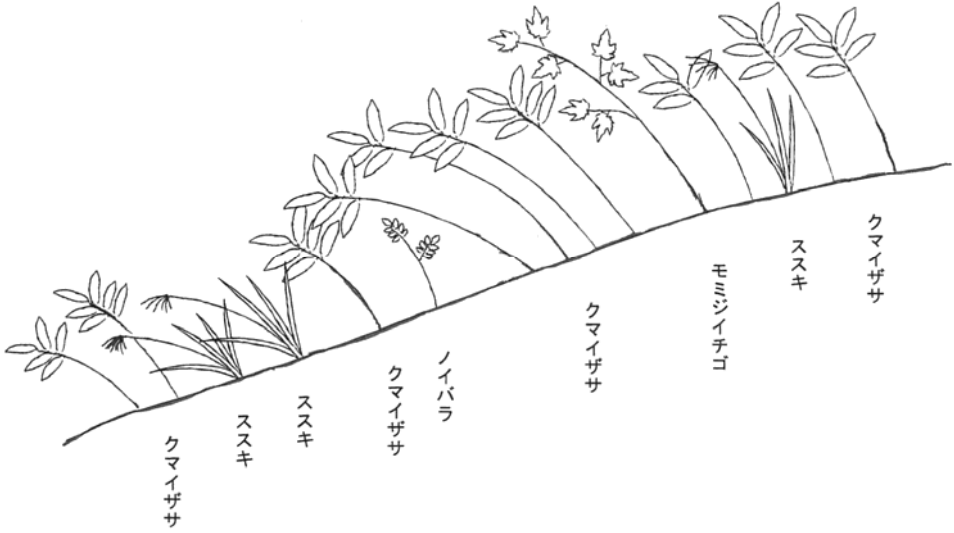
No.	群落名	概要
17	クマイザサ群落	<p>ブナクラス域における山地帯に成立する二次草原。 高さ 2m 程度、クマイザサが優占し、ススキ、ワラビ、ノイバラなどが混生していた。 調査地域では、南木曾町の送電線路線下に小面積で分布していた。</p>
		

表 18 植物群落の概要

No.	群落名	概要
18	ススキ群落	<p>ブナクラス域における低地帯～山地帯に成立する二次草原。 高さ 2m 程度、ススキが優占し、オギ、メマツヨイグサ、セ イタカアワダチソウなどが混生していた。 調査地域では、高森町を除く各地に分布していた。</p>
<div style="text-align: center;">  </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;">セ イ タ カ ア ワ ダ チ ソ ウ</div> <div style="text-align: center;">メ ド ハ ギ</div> <div style="text-align: center;">ス ス キ</div> <div style="text-align: center;">セ イ タ カ ア ワ ダ チ ソ ウ</div> <div style="text-align: center;">ヨ モ ギ</div> <div style="text-align: center;">セ イ タ カ ア ワ ダ チ ソ ウ</div> <div style="text-align: center;">ス ゲ 属 の 一 種</div> <div style="text-align: center;">ス ス キ</div> <div style="text-align: center;">ス ゲ 属 の 一 種</div> </div>		

表 19 植物群落の概要

No.	群落名	概要
19	チガヤ群落(V)	<p>低茎草地に成立する草本群落。 高さ 0.3m 程度、チガヤが優占し、シロツメクサ、エゾノギシギシ、コハコベなどが混生していた。 調査地域では、豊丘村、喬木村、高森町、飯田市の天竜川の堤防法面に分布していた。</p>

表 20 植物群落の概要

No.	群落名	概要
20	伐採跡地群落 (V)	<p>ブナクラス域における低地帯～山地帯に成立する伐採跡地群落。</p> <p>高さ 2～7m 程度、低木層はリョウブ、ヌルデが優占し、イヌシデ、ソヨゴ、バイカツツジ、シロモジなどが混生していた。</p> <p>調査地域では、大鹿村、高森町を除く各地に分布していた。</p>

表 21 植物群落の概要

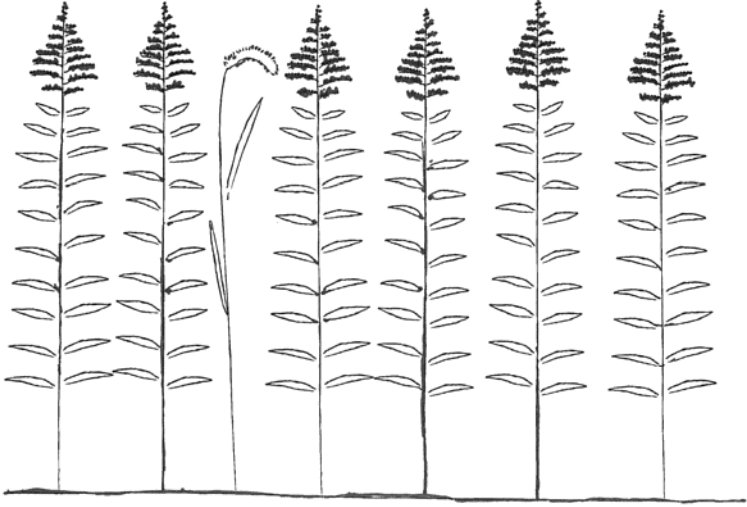
No.	群落名	概要
21	セイタカ アワダチソウ 群落 (外来種二次草原)	耕作放棄地や荒地に成立する草本群落。 高さ 1.5m 程度、セイタカアワダチソウが優占し、ヨモギ、 アキノエノコログサ、メヒシバなどが混生していた。 調査地域では、喬木村、飯田市の荒地に小面積で分布してい た。
 <p data-bbox="558 1232 582 1422" style="text-align: center;">セ イ タ カ ア ワ ダ チ ソ ウ</p> <p data-bbox="694 1232 718 1366" style="text-align: center;">ア キ ノ エ ノ コ ロ</p> <p data-bbox="949 1232 973 1422" style="text-align: center;">セ イ タ カ ア ワ ダ チ ソ ウ</p>		

表 22 植物群落の概要

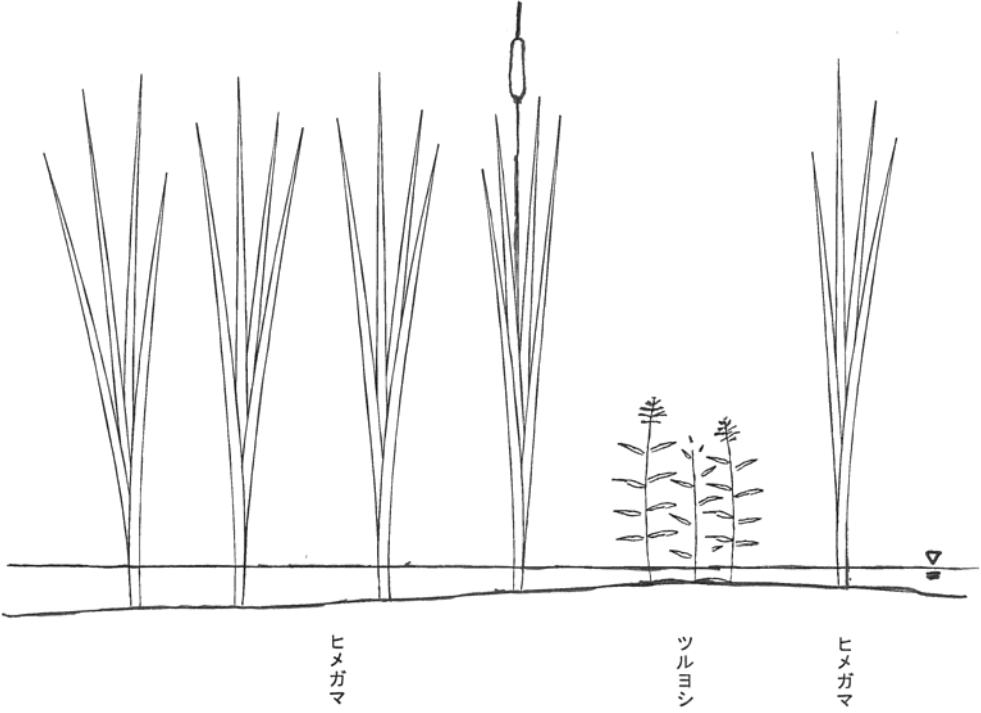
No.	群落名	概要
22	ヒメガマ群落	<p>池沼に成立する草本群落。 高さ 1.5m 程度、ヒメガマが優占し、ツルヨシが混生していた。 調査地域では、飯田市のため池に小面積で分布していた。</p>
 <p style="text-align: center;">ヒメガマ ツルヨシ ヒメガマ</p>		

表 23 植物群落の概要

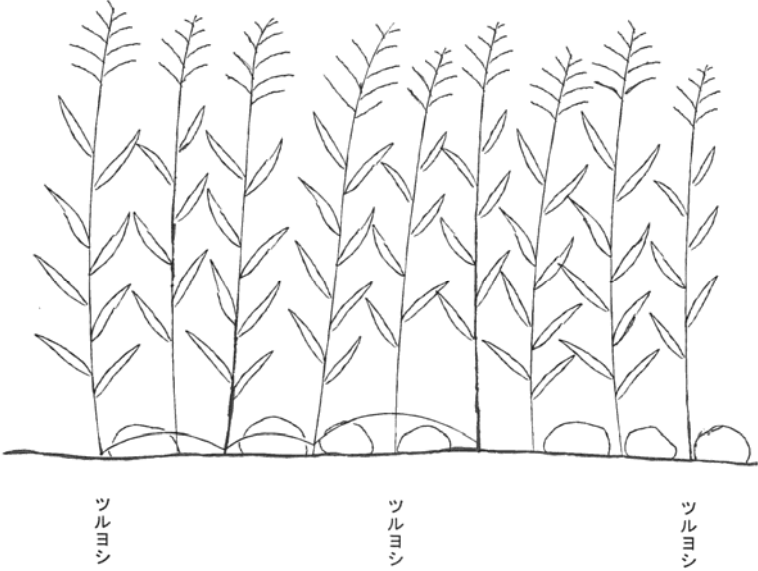
No.	群落名	概要
23	ツルヨシ群集	<p>河川沿いに成立する草本群落。 高さ 1~2m 程度、ツルヨシが優占し、カラハナソウ、クサソテツなどが混生していた。 調査地域では、大鹿村、豊丘村、喬木村、南木曾町の河川沿いに分布していた。</p>
		

表 24 植物群落の概要

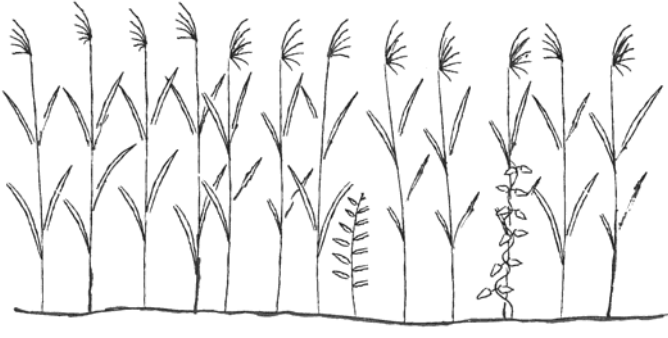
No.	群落名	概要
24	オギ群集	<p>主に河川沿いに成立する草本群落。 高さ 2~3m 程度、オギが優占し、セイタカアワダチソウ、ヘクソカズラ、カキドオシなどが混生していた。 調査地域では、阿智村を除く各地の河川沿いに分布していた。</p>
 <p data-bbox="662 1131 1093 1321"> オギ セイタカアワダチソウ オギ ヘクソカズラ オギ </p>		

表 25 植物群落の概要

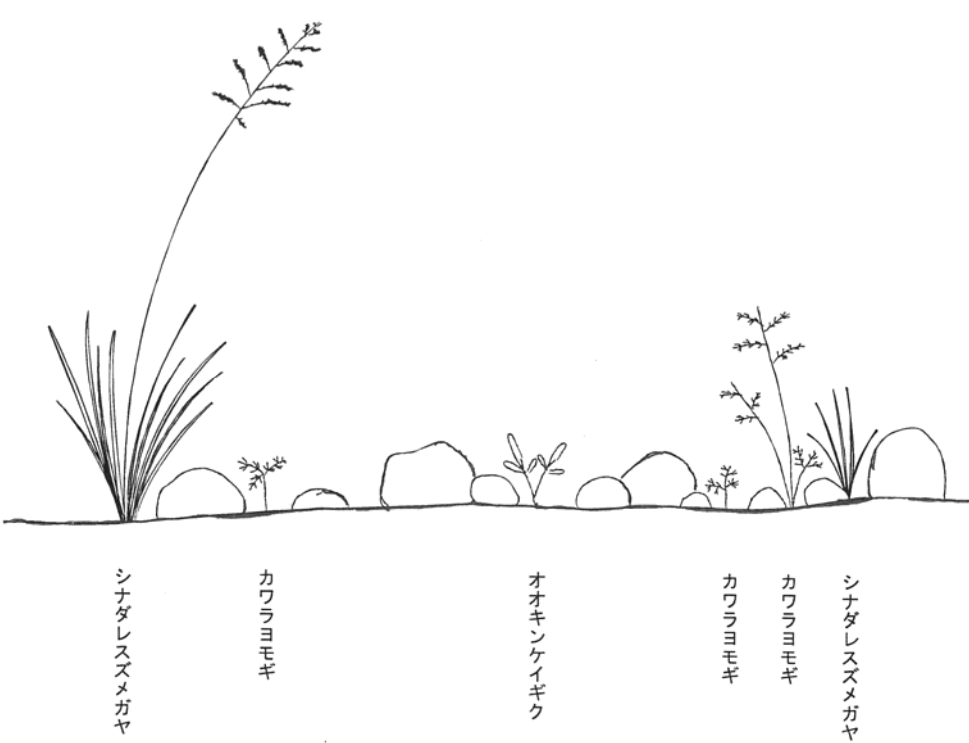
No.	群落名	概要
25	カワラヨモギ群落	<p>河川の礫原に成立する草本群落。 高さ 1.0m 程度、カワラヨモギが優占し、オオキンケイギク、シナダレスズメガヤ、カラメドハギなどが混生していた。 調査地域では、豊丘村、喬木村、高森町、飯田市の天竜川の礫原に分布していた。</p>
 <p style="text-align: center;">シナダレスズメガヤ カワラヨモギ オオキンケイギク カワラヨモギ カワラヨモギ シナダレスズメガヤ</p>		

表 26 植物群落の概要

No.	群落名	概要
26	ヨモギーメドハギ群落	<p>河川沿いに成立する草本群落。 高さ 0.5~1.5m 程度、メドハギが優占し、ヒメムカシヨモギ、ヒメジョオン、ヨモギなどが混生していた。 調査地域では、大鹿村、豊丘村、飯田市の河川沿い、荒れ地に小面積で分布していた。</p>
<p style="text-align: center;"> ヨモギ メドハギ シナダレスズメガヤ ヒメムカシヨモギ シナダレスズメガヤ マルバヤハズソウ メドハギ シナダレスズメガヤ ヒメジョオン カラメドハギ ムラサキツメクサ メドハギ </p>		

表 28 植物群落の概要


No.	群落名	概要
28	イ-ミゾソバ群落	<p>湿地に成立する草本群落。 高さ 0.8m 程度、イが優占し、ミゾソバ、コブナグサ、セリなどが混生していた。 調査地域では、大鹿村に小面積で分布していた。</p>
 <p data-bbox="399 1131 1292 1310"> ミソソバ イ セリ ミソソバ ミソソバ スギナ カワラスガナ イ シロツメクサ コブナグサ イ コブナグサ アブラガヤ セリ コウガイゼキショウ ミソソバ </p>		

表 29 植物群落の概要


No.	群落名	概要
29	岩壁植生	<p>石灰岩の崖地に成立する岩壁植生。 高さ 0.5m 程度、イワデンダ、スゲ属の一種が優占し、ヒカゲツツジ、オオビランジ、クモマナズナなどが混生していた。 調査地域では、大鹿村の河川沿いの岸壁にごく小面積で分布していた。 植生図には小面積の為、図示していない。</p>
		

表 30 植物群落の概要

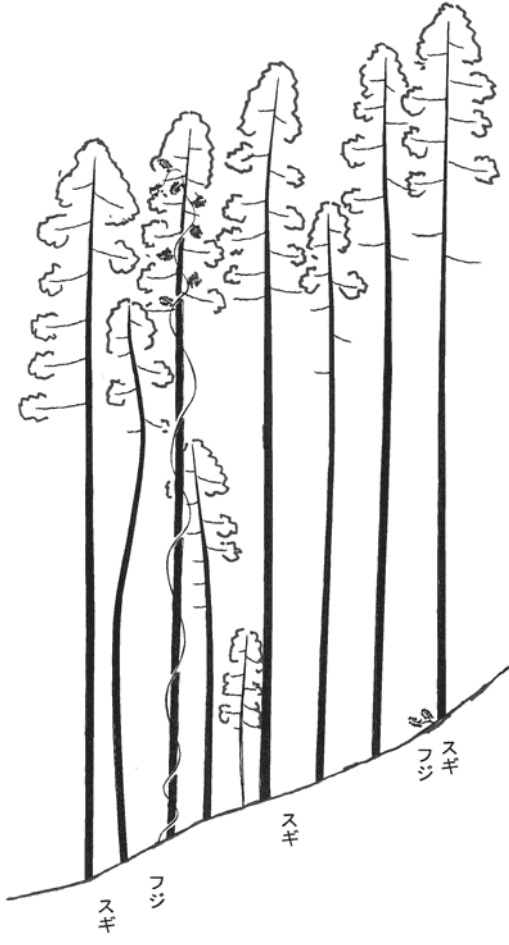
No.	群落名	概要
30	スギ・ヒノキ・サワラ植林	<p>植栽された常緑針葉樹林。 高さ 14~22m 程度、高木層は植栽されたスギ、ヒノキが優占していた。 調査地域では、全域の低地~山地にみられ、豊丘村、南木曾町では広く分布していた。</p>
		

表 31 植物群落の概要

No.	群落名	概要
31	カラマツ植林	<p>植栽された落葉針葉樹林。 高さ 18~30m 程度、植栽されたカラマツが優占し、ホオノキ、アカマツなどが混生していた。 調査地域では、大鹿村、豊丘村、阿智村、南木曾町の山地に分布していた。</p>

表 32 植物群落の概要


No.	群落名	概要
32	ニセアカシア群落	<p>河川沿いに成立する外来種の落葉広葉樹林。 高さ 18m 程度、高木層はニセアカシア（ハリエンジュ）が 優占し、オニグルミ、コゴメヤナギなどが混生していた。草本 層は非常に豊富であった。 調査地域では、大鹿村、豊丘村、喬木村、飯田市の谷沿い斜 面等に小面積で分布していた。</p>
<div style="text-align: center;">  </div> <div style="text-align: center; margin-top: 10px;"> <p>クサヨシ ハリエンジュ クサヨシ オニグルミ エノキ カキドオシ クサヨシ ハリエンジュ カキドオシ オニグルミ コゴメヤナギ クサヨシ コゴメヤナギ</p> </div>		

表 33 植物群落の概要

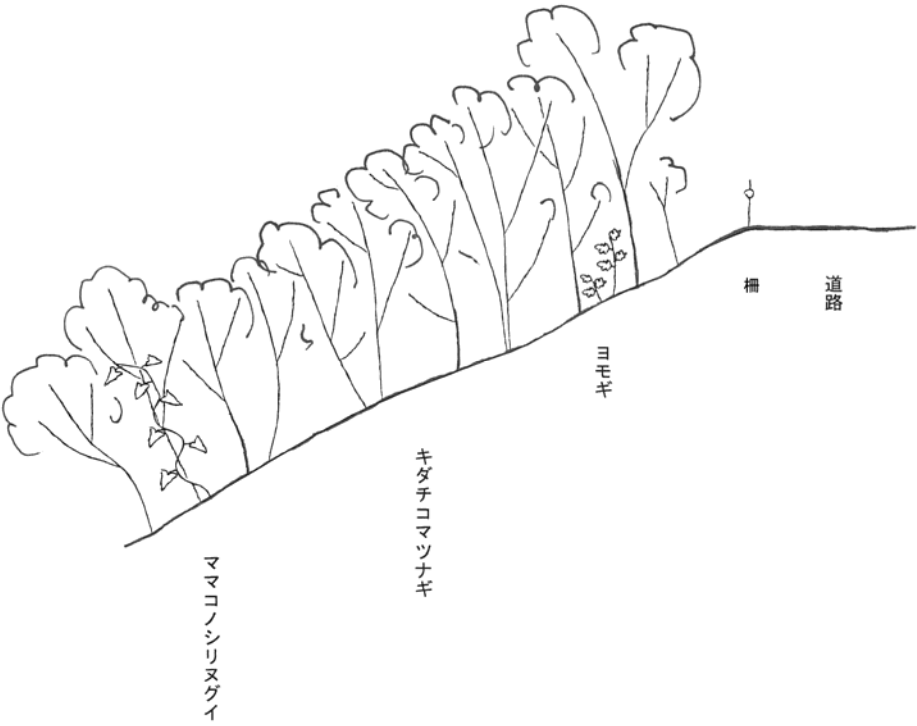
No.	群落名	概要
33	キダチコマツナギ群落	<p>植栽された落葉広葉樹の低木群落。 高さ 3m 程度、低木層は植栽されたキダチコマツナギが優占していた。 調査地域では、飯田市の法面に小面積で分布していた。</p>
		

表 34 植物群落の概要

No.	群落名	概要
34	竹林	<p>植栽された竹林。 高さ 7~9m 程度、高木層はモウソウチクが優占していた。 調査地域では、全域の人家周辺の低地~山地に分布していた。</p>

表 35 植物群落の概要

No.	群落名	概要
35	ゴルフ場・芝地	ゴルフ場又は芝地である。
		(調査資料なし)

表 36 植物群落の概要

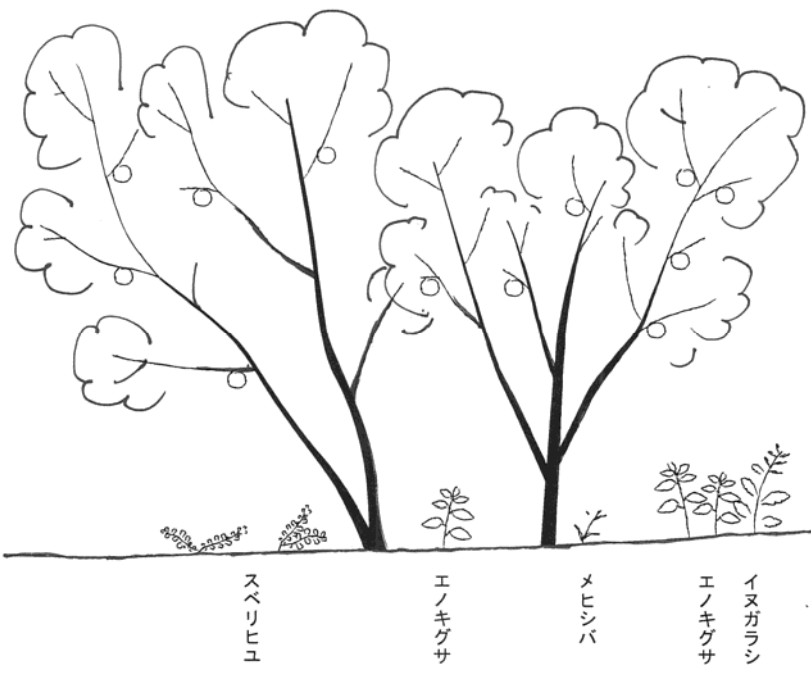
No.	群落名	概要
36	果樹園	<p>果樹を植栽した落葉広葉樹林。 高さ 5m 程度、低木層にリンゴが優占し、草本層にスベリヒユ、エノキグサ、イヌガラシ、ハキダメギクなどを確認した。 調査地域では、阿智村を除く各地の人家周辺で見られ、豊丘村、飯田市の一部では広く分布していた。</p>
		

表 37 植物群落の概要

No.	群落名	概要
37	畑雑草群落	<p>畑地に成立する雑草群落。 高さ 0.6~1.0m 程度、ワラビ、ヨモギ、チカラシバ、メヒシバなどが優占し、ムラサキツメクサ、キンエノコロ、スギナなどが混生していた。 調査地域では、全域の人家周辺に広く分布していた。</p>

表 38 植物群落の概要

No.	群落名	概要
38	水田雑草群落	<p>水田に成立する雑草群落。 高さ 0.1~1.4m 程度、ミゾソバ、アゼナ、ヒナガヤツリなどが優占し、チョウジタデ、トキンソウ、オモダカ、コナギなどが混生していた。 調査地域では、全域の人家周辺にみられ、天竜川周辺の低地に広く分布していた。</p>
